

第5回全国中学ビブリオバトル決勝大会(報告)

【社会教育課】

★グランドチャンプ本 (優勝)

大分県代表 別府市立別府西中学 3年 種子田 空里

『アルジャーノンに花束を』(ダニエル・キイス/著、早川書房)

第5回全国中学ビブリオバトル決勝大会概要

- 【期 日】 2022年3月20日(日)
 【会 場】 昭和女子大学(東京都)
 【主 催】 活字文化推進会議 【協 力】 松竹芸能株式会社
 【特別協力】 昭和女子大学 【主 管】 読売新聞社
 【参加者数】 13名(9府県の代表者9名+自己推薦4名)
 【参加府県】 秋田県、福島県、山梨県、東京都(自推)、千葉県(自推)、石川県、
 福井県、三重県、和歌山県、大阪府、大分県
 【実施方法】 予選発表⇒発表者と引率者による投票⇒決勝⇒発表者と引率者の投票に
 よりグランドチャンプ本(優勝)決定

【決勝進出者】

★準グランドチャンプ本

和歌山県代表 かつらぎ町立笠田中学 3年 松下 幸太郎
『逆ソクラテス』
(伊坂 幸太郎/著、集英社)

★優秀賞

福井県代表 福井県立高志中学 2年 鶴谷 百恵
『アーモンド』
(ソン・ウォンピョン/著、祥伝社)自己推薦 多摩市立鶴牧中学 3年 船引結有
(東京都) 『サウンド・オブ・サイレンス』
(五十嵐貴久著、文藝春秋)

《大分県代表 種子田さんの発表の様子》

※決勝の様子の動画は後日、「活字の学び」ウェブサイト (<https://katsuji.yomiuri.co.jp/>) にアップされます。

全国中学ビブリオバトル決勝大会概要

=活字文化推進会議が主催する中学生のビブリオバトル全国大会

※活字文化推進会議：活字文化の振興を目指し、読売新聞社が2002年10月に設立。出版関係業界と協力し、全国各地でフォーラムや大学での公開講座、読み聞かせ教室等を実施している。

- ・県の代表として推薦されるほか所属の学校長の推薦を受けて自己推薦での参加も可能
- ・2017年に第1回大会開催、第3・4回大会は新型コロナウイルス感染症により中止
⇒ 2022年に再開